

# 結核征伐の歌

文學博士 上田 萬年校閱  
醫學博士 遠山 椿吉作歌  
田村 虎藏作曲

一 とも肺病は目に見えぬ  
強しと見ゆる體にも  
その弱點につけ入りて  
二 されば豫防の第一は  
常に體を養ひて  
打ちかつ程の體力を  
三 日も麗らかな春の海  
あけ放ちたる高きのに  
塵も汚れぬ芝生なき  
四 冷水 摩 擦 深 呼 吸  
大弓 園 藝 舟 遊 び  
自然に觸れよ親しめよ  
五 外出嫌ひの不精もの  
肺結核の無二の友  
暗き處に魔はひそむ  
六 衣食住居に氣をつけて  
規則正しき生活の  
病氣のねらふ隙もなく  
はき清めたる庭の面  
呼吸のための仙境ぞ  
體操 遊戯や 聲樂や  
散步もよろし旅行よし  
七 天地に微妙の藥あり  
運動好かぬ人々は  
大氣をあびよ日光を  
八 風來ぬ處に醫者來る  
寝るも起るも定めあり  
九 良き習慣をつづけなば  
結核菌も逃げ失せん

七 結核菌は病人の  
生活力の強くして  
病人の居し室にまで  
乾ける痰を棄て置けば  
八 鼻唇に觸れしもの  
總てあやしき物はみな  
不幸病にかかるとも  
療養よろしき甲斐ありて  
眞の醫師にうちまかせ  
九 手療治禁厭益はなし  
人事盡して天に待つ  
意志堅剛に持久せば  
一六  
はきだす痰の中にあり  
乾くといへき死にきらす  
永くひそむと思ふべし  
菌は空氣のなかに散る  
衣具も衣類も書籍をも  
消毒せずして用ゐるな  
必ず不治と思ふなよ  
なほりし例數知れず  
攝生治療につとむべし  
永びくとも悲観すな  
この心こそ良薬と  
やがては春の回り來ん